

グループ名 ・代表者名	リリウム研究会 岡本 孝枝	助成金額	30万円
連絡先など	liliumnokai@gmail.com		
助成のテーマ	東海第二原発廃炉にむけての活動		

## 【調査研究・研修の概要】

- ・東海第二原発問題に対して、村民にもっと関心を向けてほしいとの思いから、機関紙「リリウム通信」をこれまで7回発行。「原発問題について知る機会を得られた」「届く度に丁寧に読み込んでいる」「本来は行政が伝えるべきことを市民団体がこうして伝えてくれて有難い」などの声を頂いている。
- ・2013年5月に、東海第二原発で過酷事故が起こった時の避難計画や賠償責任等を明確にしない限りは、再稼働を認めるべきではない、という内容の請願を出した。現在も原子力問題調査特別委員会では、請願書は審議中となっているものの一向に進展しないため、2015年2月に新たな要望書「請願審査の委員会において福島視察に関する報告及び福島避難者からの意見聴取について」を提出した。
- ・東海村には、高レベル、低レベルの放射性廃棄物が事業所に大量に保管されている。村内の住民に向けて「核のゴミMAP」をまとめ、「リリウム通信」に掲載したところ、とても大きな反響があった。深刻な問題をわかりやすく可視化したこの「核のゴミMAP」は、いろいろな所で活用されている。

## 【調査研究・研修の経過】

2014年4月下旬～5月上旬 東海第二原発30km圏内14市町村長と面会し、日本原電の適合性審査申請を認めないよう要請書を提出 リリウム研究会  
 5月5日 後藤政志氏講演会 中丸コミュニティセンター（主催）  
 5月15日 山田村長面会 東海村役場 5人  
 5月20日 日本原電の東海第二原発再稼働申請に抗議する文章を発表  
 6月28日 東海第二原発再稼働反対の署名集め  
 7月2日 「東海第二原発は何が問題か」勉強会 講師後藤政志（主催）  
 7月4日 原電適合性審査申請の住民向け説明会（地区別） テラパーク 以後4回参加  
 7月9日 日本原電に新規性基準への適合性に係る申請内容についての公開質問状提出  
 7月20日 朴勝俊氏講演会 中丸コミセン（主催）  
 7月26日 とうかい環境フェスタ 東海村役場駐車場（核のゴミMAP展示等）  
 11月25日 「リリウム通信第7号」全村配布 17,000部  
 2月15日 東海村議会へ「請願審査の委員会において福島視察に関する報告及び福島避難者からの意見聴取について」要望書を提出



とうかい環境フェスタでの核のゴミMAP展示等の様子  
東海村役場駐車場にて

## 【今後の展望など】

- ・「リリウム通信」によって住民の意識の変化が少しずつ表れてきたように思う。常に発信し続けることが大事だと思っている。原発地元である東海村内での活動は、どのようにアプローチしていいのかわからないものがあるが、原発地元だからこそ、この悩みを突破できた時には、大きく前進するのではないかと考えている。
- ・私たちは原発推進派の住民の方とも意見を交えたいと思っているので、積極的に話し合いの場に出席している。その中で本音の部分に触れる機会があり、その複雑な心情を知ることで活動の展開が広がる事がある。引き続き、色々な意見を交えながら、原発が稼働しなくてもやっていけるという自信を住民の中でつけていきたい。

会計報告書の概要（金額単位：千円）			充当した資金の内訳		
支出費目	内訳	支出金額	高木基金の助成金を充当	他の助成金等を充当	自己資金
旅費	原子力規制庁・県原対課	6	6		
講師謝礼・交通費	謝礼3万・交通費1万	96	40		56
資料費	核のゴミマップ作成・印刷、情報公開請求、環境フェスタ発表資料作成	10	2		8
機材・備品費	携帯電話（専用）、ビデオカメラ・バッテリー	25			25
用紙代	リリウム通信	1	1		
印刷費	リリウム通信、インク代	85	85		
協力者謝礼等	版下作成	29	29		
外部委託費	リリウム通信 ポスティング代	137	137		
運営経費	電話代・郵送料・会議費・会場費等	48			48
その他	横断幕、お茶代など	5			5
合計		441	300		141





**リリウムの会の第二の請願に関連した要望書を提出。要望が通った！！**

平成27年2月15日

東海村議会  
議長 鈴木 昇様

請願者 リリウムの会 ○○○○

請願審査の委員会において  
福島視察に関する報告及び福島避難者からの意見聴取についての要望書

請願が付託されている原子力問題特別調査委員会（原特委）での審議がストップしている状態を打破するため、この要望書を提出した。8ヶ月ぶりに原特委が開催され審議された時に、賛成する委員が多数決ではなく話し合いで要望が通るように議論の流れを作ってくれた。原発推進派の中にも、この要望書に賛成した委員がいたことはとても大きな事だった。

**除染後の写真（東海第二原発のすぐ北、豊岡なぎさの森公園）**

2013年12月15日、2014年1月6日



東京電力福島第一原発事故で東海村も汚染されてしまった。除染後はフレコンバックに詰められ、村内に保管されている。このフレコンバックの存在を忘れないために、東海村のイベント等でこの写真を展示している。

**東海第二廃炉・反対の請願が採択された地域**

2015年3月17日現在



・徐々に包囲されてきた。44市町村中23市町村で決議済み。

・福島第一原発事故をみて、ひとつは事故が起こるとどうなるのか、私たちは知った。東海村議会議員には、この結果をよく受け止めてほしい。

・リリウムの会の請願に消極的と思われる議員は、どうしても自分の立場を守るという所から離れない。ここをどう突破していくのが、今後の課題。

・請願が採択されるように、これからも議員とのコミュニケーションを大切にしたい。

**原発反対活動と並行して、地域に入って活動することの大切さに気づき・・・**

東海村や商工会が企画しているイベントに参加

原発推進メンバーが立ち上げた会の集まりに参加

東海第二原発問題について  
地元住民と話がしたい！！  
(先ずは私たちを知ってもらう事から)

環境関係のボランティア団体に加入

1999年臨界事故後に設立したNPO法人に加入

**東海村にある低レベル・高レベル放射性廃棄物**

2013年12月末日現在



核のゴミ問題はとても大きな問題。しかし、目に触れない所にあるからなのか住民間で話にあがらないので、可視化しようと思いMAPを作成した。

